

1 概要

当資料館は、旧名を城南町歴史民俗資料館といい、平成22年3月23日の合併により、熊本市塚原歴史民俗資料館へと名称変更された。館名のとおり史跡塚原古墳群に隣接しており、同史跡のガイダンス施設の役割も果たしている。

館内には、塚原古墳群からの出土資料をはじめ、城南町時代に収集された考古・歴史・民俗分野の資料約6000点を収蔵展示している。主な展示物には、重要文化財の台付舟形土器、県指定重要文化財の千々屋寺の馬頭観音立像や国指定史跡阿高・黒橋貝塚、御領貝塚出土の資料、県内最古の旧石器（沈目遺跡）、貴重な弥生時代の青銅器（新御堂遺跡）、県内最古の寺院跡陳内廃寺の出土瓦等がある。また考古学史を語る上で重要な小林久雄氏収集の資料（通称小林久雄コレクション）を収蔵展示している。

（1）熊本市塚原歴史民俗資料館のあゆみ

昭和49年12月	日本道路公団・文化庁・熊本県・城南町の四者協定により資料館建設の方針決定。
昭和51年12月	塚原古墳群国指定史跡となる。
昭和54年3月	『塚原古墳群管理計画書』により、資料館にかかる基本計画を策定。
昭和56年4月	城南町歴史民俗資料館建設準備委員会発足。
昭和56年7月	建設予定地発掘調査。
昭和57年9月	城南町歴史民俗資料館の建設に着工。
昭和58年3月	城南町歴史民俗資料館が竣工。
昭和58年11月	城南町歴史民俗資料館が開館。
平成2年	資料館敷地内に古代祭再現石造群設置。
平成3年	資料館敷地内に竪穴住居・高床倉庫建築。
平成22年3月	合併により熊本市塚原歴史民俗資料館と改名。



熊本市塚原歴史民俗資料館全景



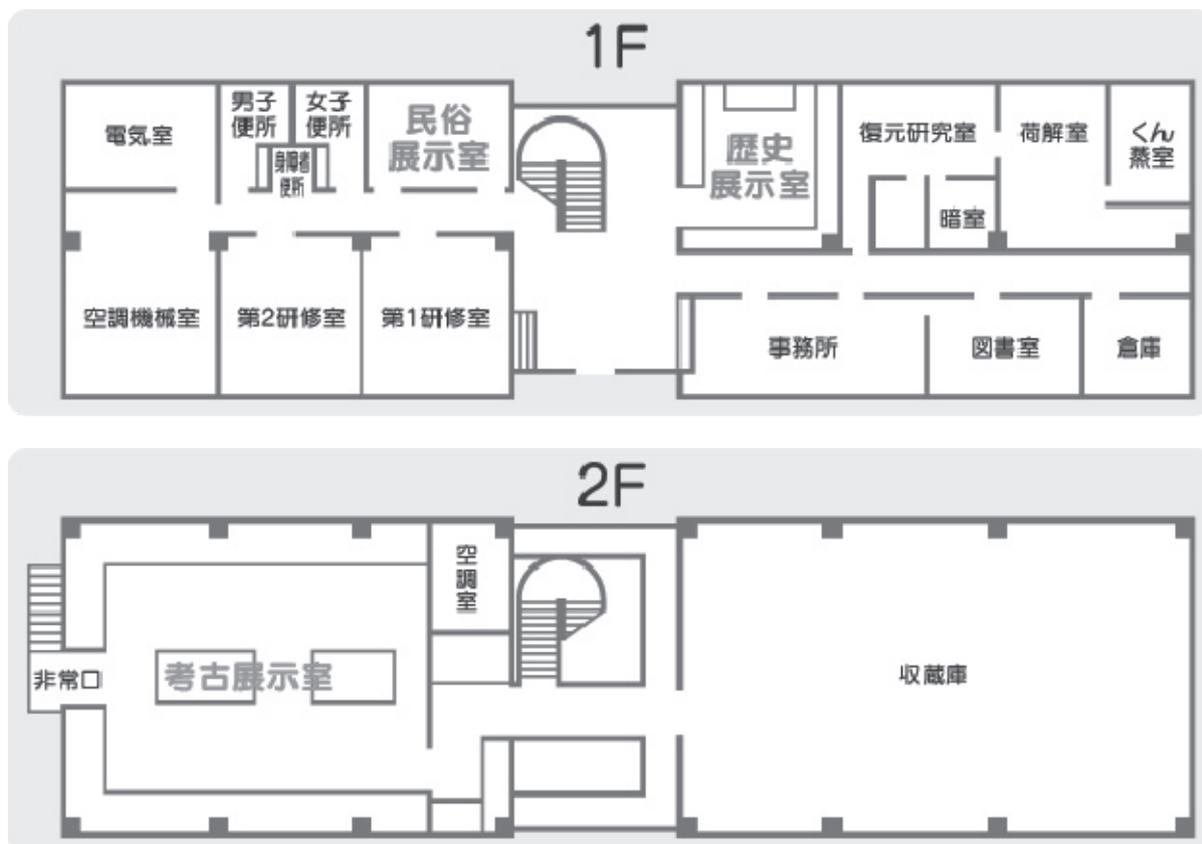
考古展示室



歴史展示室



民俗展示室



● 熊本市塚原歴史民俗資料館施設面積

敷地面積	6,942㎡	延床面積	1,356㎡
建築面積	890㎡	展示室面積	351㎡
考古展示室	280㎡	事務室	43㎡
歴史展示室	43㎡	倉庫	14㎡
民俗展示室	28㎡	荷解室	21㎡
収蔵庫	306㎡	機械電気室	87㎡
研修室	87㎡	ロビー	87㎡
図書室	28㎡	便所	28㎡
復元研修室	43㎡	その他	244㎡
くん蒸室	17㎡		
<p>●構造 鉄筋コンクリート2階建て ●事業費 324,718千円</p> <p>※復元研究室には、器具室・暗室を含む</p>			

2学芸活動

1 展 示

(1) 企画展

平成26年度企画展「ブラジル移民の父上塚周平の軌跡展」

日時 5月8日(木)～6月1日(日)

会場 塚原歴史民俗資料館 特別展示室

入場者 313名



ブラジル訪日団上塚周平展見学

2 教育普及

(1) 教室・講座

ア 歴史民俗資料館古文書講座

受講年齢制限なしの通年の講座。月1回第3日曜日に開催。今年度も昨年度に引き続き、熊本史学会会員の花岡興史氏に「細川家史料にみる城郭政策」

(5・6月)「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」(7～2月)のテーマで講義をいただいた。複数年にわたって受講が可能のため、開講当初からの参加者も多い。

- | | |
|----------------------------|-----|
| 4.20記念講演「こわい?おもしろい?生人形の魅力」 | 35名 |
| 5.18「江戸時代の細川家史料に見る城郭政策」 | 34名 |
| 6.15「江戸時代の細川家史料に見る城郭政策」 | 31名 |
| 7.20「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 38名 |
| 8.17「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 34名 |
| 9.21「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 33名 |
| 10.19「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 31名 |
| 12.21「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 32名 |
| 1.18「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 32名 |

- | | |
|---------------------------|-----|
| 2.15「相良清兵衛事件に見るお家騒動と幕藩関係」 | 32名 |
| 3.15記念講演「加藤清正と熊本城」 | 18名 |

イ 歴史民俗資料館考古学講座

年齢制限なしの通年の講座。月1回第1日曜日に開催。原始から古代を中心に各回テーマを設定して講義を行った。また熊本市文化振興課の職員2名にそれぞれの研究分野について講義をお願いした。

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 4.20 記念講演「こわい?おもしろい?生人形の魅力」 | 16名 |
| 5.5 「肥後しゃくやく展・館内・塚原古墳群見学」 | 18名 |
| 6.1 「熊本のあけぼの」 | 22名 |
| 7.6 「貝塚の時代」 | 24名 |
| 8.3 「弥生時代のはじまり」 | 23名 |
| 9.7 「高塚の時代①」 | 19名 |
| 10.5 「南区域南町の遺跡探訪」 | 13名 |
| 12.14 「須恵器ってナニ?②」 | 15名 |
| 1.12 「高塚の時代②」 | 19名 |
| 2.2 「実録 弥生時代」 | 17名 |
| 3.15 記念講演「加藤清正と熊本城」 | 17名 |



古文書講座(講座風景)

ウ 回想法

開始から4年が経過した。ひきつづき老人総合福祉施設『グリーンヒルみふね』と連携して月1回の実施の予定だったが、施設職員の都合により4・5月2回のみの実施となった。資料は、本館所蔵の民俗資料を利用することとし、参加者の出身地等を考慮して、主に農具や生活用具・教科書などを中心に使用した。リーダーは上記施設の職員、コ・リーダーを同施設職員と本資料館職員が担当し、参加者には思い出話や体験を語ってもらうことにより、自尊感情を高め、認知症のケアに努めた。

エ わくわく古代体験教室



わくわく古代体験（巴形銅器） わくわく古代体験（火おこし体験）

歴史や考古学の楽しさを教えるために、小学校4～6年生を対象に夏休みに3日間開催。3日とも違ったメニューを用意して行った。

参加者 35名

8.8 巴形銅器作りと火おこし体験

シリコン鋳型を使った巴形銅器作りと火おこし

8.9 古代織作りと火おこし体験

原始機を使った古代織と舞錐を使った火おこし

8.10 勾玉作りと火おこし体験

蠟石を使った勾玉作りと火おこし

オ 学芸員と歩く野外博物館

年齢制限なしの教室。塚原歴史民俗資料館の館内見学と同館周辺の野草や遺跡の観察を行う講座。植物及び考古担当学芸員が案内した。

日時 4月6日（日）、11月3日（月・祝）

参加者 14名

カ わくわく土器作り教室

小中学生と親子で参加する体験教室。土器作りの難しさを感じつつも完成した作品に満足げな様子だった。

日時 4月27日（日）、5月11日（日）

参加 44名



わくわく親子で土器作り

キ 土器修復体験講座

昨年度から実施しているバックヤード体験講座。本館で作成した土器を使って、接合や石膏入れなど

のバックヤードの作業を体験してもらう講座。参加者は、なれない作業に四苦八苦しながらも楽しんでいたようだった。

日時 8月24日（日）、9月15日（月・祝）

参加者 20名



土器修復体験講座

ク 拓本講座

一般成人を対象とした講座。拓墨作りから行い、館内に収蔵している土器・古瓦の他、城南町東阿高に所在する板碑の拓本取りに挑戦した。

墨打から裏打までを行うことにより、文化財への関心を深めるとともにその愛護心の高揚を図ることを目的としている。

日時 9月14日（日） 土器・古瓦の拓本（墨打）

9月23日（火・祝） 板碑の拓本（墨打）

9月28日（日） 裏打ち

参加者 47名



拓本講座—墨打ち—

ケ 土器作り講座

塚原歴史民俗資料館に収蔵している土器をモデルに、各自思い思いの土器を作成。焼成は、タイ式の土器焼成法で実施。天候もよく、参加者は焼きあがった作品に満足げだった。焼成日は、特例区の火の君まつりの日でもあり、見学者も多かった。

日時 10月19日(日) 土器の成形	時代一」 参加者	17名
11月9日(日) 土器の焼成	2.21 県立装飾古墳館「講義・実録弥生時代一新御堂遺跡の全貌一」 参加者	81名
参加者 31名		
コ 古代織体験教室	ス その他の教育普及活動(館内で実施)	
復元した弥生時代の原始機での織物体験。	通年 まち咲き案内人「編布・勾玉づくり」	
日時 12月23日(火・祝)	参加者	41名
参加者 6名	9.11 学校教育課初任者研修「講義一南区域南町の文化財一」 参加者	87名
サ らくがんアート	10.9 下益城城南中学校特別支援学級「体験学習一勾玉づくり一」 参加者	10名
らくがん型から粘土で型おこした牡丹・菊・椿・大黒などを素焼きにしたものに色付けをし、置物を作る体験教室。	11.14 城南町案内ボランティア養成研修「講義 塚南区城南町の文化財並びに展示物解説」 参加者	20名
日時 2月8日(日)		
参加者 2名		
シ 館外活動	セ 博物館実習生の受け入れ	
6.22 杉上小学校4年生と保護者「体験学習一勾玉づくり一」	26年度は、熊本大学から1名を受け入れた。	
126名	7月18日(金)～24(木)6日博物館活動について指導を行った。詳細は以下の通りである。	
7.25 田迎西小学校2年生と保護者「出前講座一勾玉作り一」 参加者	7.18 受入式	
112名	講義 熊本市塚原歴史民俗資料館について	
7.27 城南図書館「講義・塚原古墳群について」 参加者	オリエンテーション	
5名	企画展展示案作成(基本構想)	
9.7 長嶺小5年生と保護者「体験学習一勾玉づくり一」 参加者	7.19 収蔵資料整理(写真撮影)	
65名	企画展展示案作成(基本計画)	
9.26 考古学同好会「講義・城南町域の史跡案内一御領貝塚・塚原古墳群一」 参加者	7.20 収蔵資料整理・パソコン入力	
17名	企画展展示案作成(実施計画=展示品選び出し等)	
10.23 城南公民館案内ボランティア講座「城南町域の史跡案内-塚原古墳群・めり穴」 参加者	7.21 収蔵資料整理・パソコン入力	
20名	展示会用ポスター作成	
10.29 隈小幼稚園職員「城南町域の史跡案内」 参加者	7.23 展示会用ポスター・パンフレット作成	
10名	7.24 展示案発表	
11.5 隈庄小学校6年生「講義 南区域南町の文化財一隈庄校区を中心に一」	博物館活動について(意見交換)	
90名	実習報告書作成	
12.7 東部公民館「体験講座一編布づくり一」 参加者		
30名		
1.15 熊本大学博物館学芸員課程「講義・一埋蔵文化財の保存一」 参加者		
45名		
1.28 城南図書館職員「講義-塚原古墳群とその		

3 収集保存

(1) 資料の利用

ア 資料の貸出

9.30～11.29 新御堂遺跡他出土資料18点(巴形銅器他青銅器6点 台付舟形土器他

弥生土器12点)



台付舟形土器



巴形銅器

イ 資料の特別利用

4.15～4.30 城南町俯瞰・御領貝塚・びわ塚古墳・
阿高貝塚・御領式土器・台付舟形土器
陳内廃寺出土瓦紙焼写真各1枚、黒橋
貝塚発掘調査時ビデオ1巻 (株)マイ
ンド

5.21 当尾窯跡出土須恵器 (小林コレクション)

個人利用

6.21～22 塚原古墳群出土鉄鏝 個人利用

6.3～7.10 北原1号墳出土団扇形石製品 新泉社

12.4～1.30 塚原古墳群空撮・発掘調査時ポジ各
1枚、考古展示室写真データ (株)
グレイル



瀬戸内系器台



重弧文複合口縁壺

(2) 資料の燻蒸

9.28～9.29 業者委託により、収蔵室のガス燻蒸
を実施した。使用薬剤は、ミラクンGX

(3) 資料整理

所蔵資料のデータベース化を前提とした資料の
整理作業を実施した。

平成26年度熊本市塚原歴史民俗資料館利用状況

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	開館日数		26	27	25	27	27	25	26	26	24	24	24	26
有料 個人	大人	88	217	95	100	185	125	113	76	55	97	97	140	1,388
	小人	6	15	6	5	14	7	28	15	10	0	2	10	118
有料 団体	大人	33	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	128
	小人	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	0	0	31
計		127	232	101	105	294	132	172	91	65	97	99	150	1,665

無料 入館者	大人	129	130	78	73	119	265	458	121	42	79	69	79	1,642
	小人	130	130	240	94	106	80	199	110	16	43	28	156	1,332
	計	259	260	318	167	225	345	657	231	58	122	97	235	2,974

合計		386	492	419	272	519	477	829	322	123	219	196	385	4,639
----	--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

個人大人 1,388名
 個人小人 118名
 団体大人 128名
 団体小人 31名
 無料 2,974名
 合計 4,639名